人と馬との関係を考える



「人と馬の関係学 ~人と馬との

弘司

馬は、歴史的に戦争や農耕に用いられてきました。その ような役割がなくなった現在でも、乗馬施設や、観光牧場、 競馬場などで活躍しています。本発表では、人は馬とど のような関係を持ってきたのか、そして、馬に対してど のような心理的きずなを持つのかを紹介します。

「馬の臨床獣医師42年(外科医30年)の歩み」

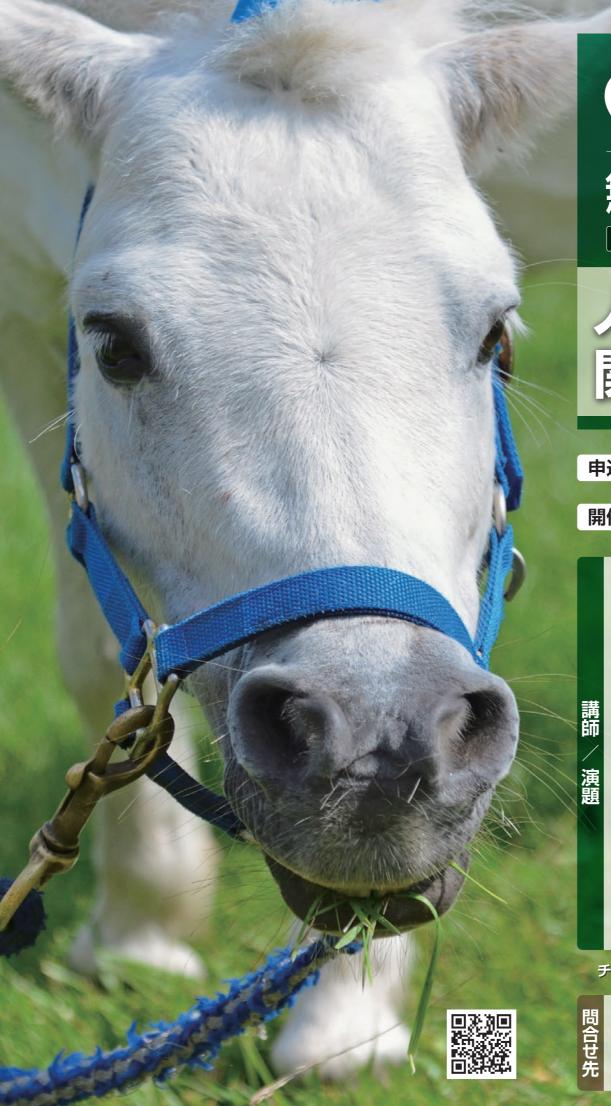
社台ホースクリニック 技術顧問 帯広畜産大学 特任教授

馬の臨床獣医師として42年の月日が流れましたが、未だ にわからない・できないことがあることに暗然とする日 があります。その中で、社台ホースクリニックを1992 年に立ち上げ、馬の外科医として自分なりに奮闘努力し て来ましたが、救えなかった馬たちに対する後悔は尽き ず、まさに「死ぬまで勉強」の日々が続きます。馬の病 気やケガと戦い続けてきた一獣医師(外科医)としての お話を、皆さんに聞いていただければ幸いと思います。

「初期調教から余生まで~唇の見線~」

ホーストラスト 理事長 霧島アート牧場 英司

長年、乗馬インストラクターとして馬と関わってきた中 で、乗馬の初期調教は数多く行ってきました。条件や方 法は千差万別でしょうが、私なりの馬へのアプローチ法 をお話ししたいと思います。その馬もやがて年を取り、 仕事ができなくなります。ホーストラストでは開設以来 約300頭の馬を見守ってきました。若い馬には見られな い様々の事象や生活する様子、またその生活環境につい てもお話できたらと思います。



生きるを学ぶ。学びが生きる。 酪農学園大学

無料オンラインセミナー 賞 500%

動画配信・事前登録制

人と馬との関係を考える

申込期間 2023 1月16日~2月17日

開催期間 2024 3月1日 10:00~14日 17:00

「人と馬の関係学 ~人と馬との~」

田上 正明 生 社台ホースクリニック 技術顧問 帯広畜産大学 特任教授

「馬の臨床獣医師42年(外科医30年)の歩み」

小西 英司 塩 ホーストラスト 理事長霧島アート牧場

「初期調教から余生まで~馬の目線で考える~」

総合討論:総合司会

チラシ馬名: 甘太 (かんた) / 撮影者: 岡村賢治 氏 (Kenji Okamura)

学校法人酪農学園 社会連携センター (担当 植松) TEL: 011-388-4131 FAX: 011-387-2805

e-mail: s-uematsu@rakuno.ac.jp